

No.5

年齢：3才（女）

症状

発熱39.2℃、咳。先日父親がインフルエンザと肺炎で入院。

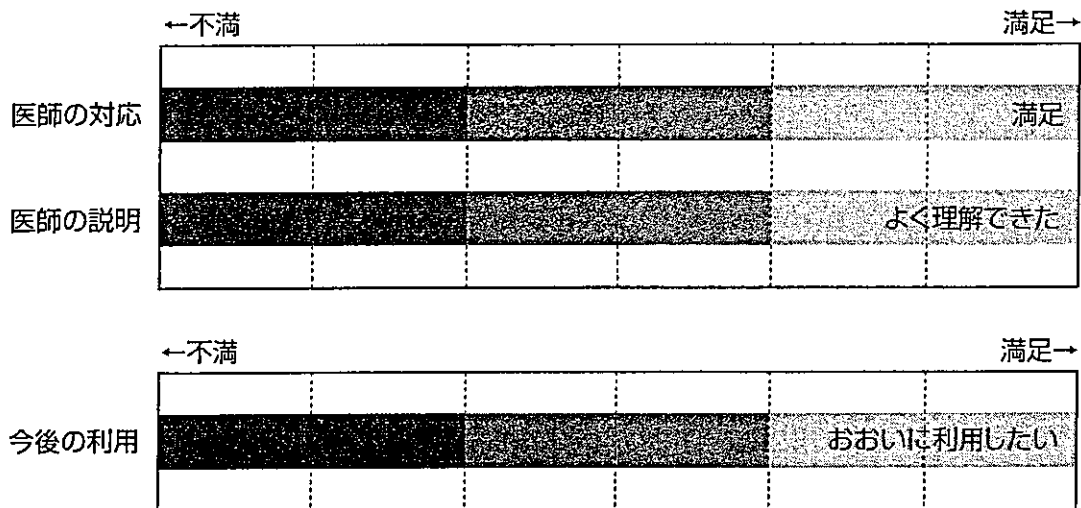
相談小児科医の助言

心配ないが、何かあれば病院に行くようにすすめた。インフルエンザに感染している可能性があります。明日、かかりつけ医でインフルエンザの検査を受けて下さい。

相談後の患児の行動

様子をみたが、受診する必要はなかった。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

熱冷ましを使うときはアセトアミノフェンが適切であることを指導して下さい。

No.6 年齢：3才（男）

症状
 本日から発熱38℃、鼻詰りの症状。約一週間前から小児科にかかり、風邪と言われた。喉が赤く、鼻詰り、鼻水、セーゼーする。下痢の症状とおむつかぶれて昨日別の病院にかかった。

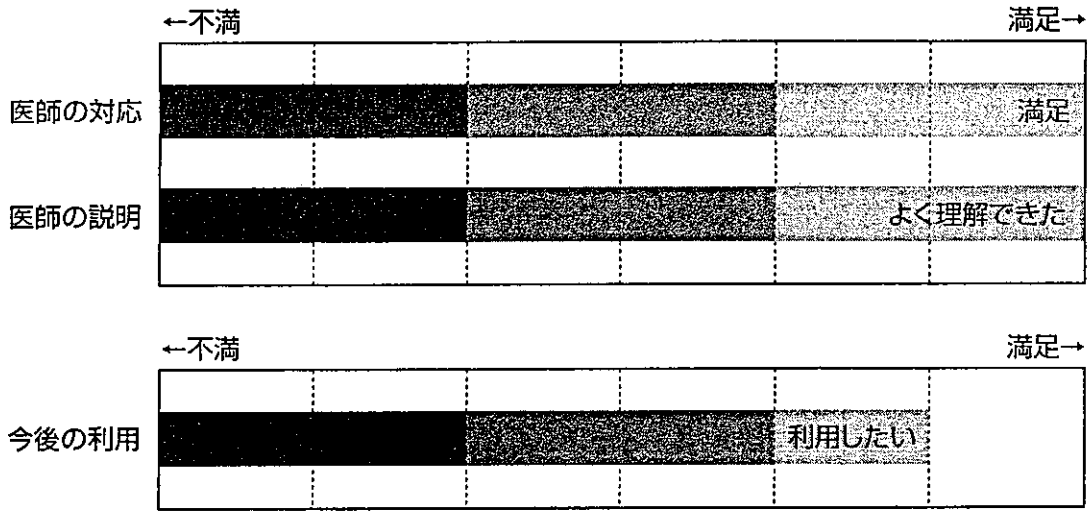
相談小児科医の助言

心配ないので、昼間かかりつけ医に行くように言った。下痢症状がひどくて眠れないようであれば今晚救急病院へ行くように言った。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

下痢のための食事を教えてあげて下さい。3才という年齢、経過が長いこと、症状が重症ではないことより、明朝の受診をすすめるのがよいでしょう。

No.7

年齢：5才（男）

症・状

発熱、喉、咽頭痛。扁桃炎によくかかるので抗生物質をもらっている。16時に抗生物質を飲みました。解熱座剤を使っても良いですか？

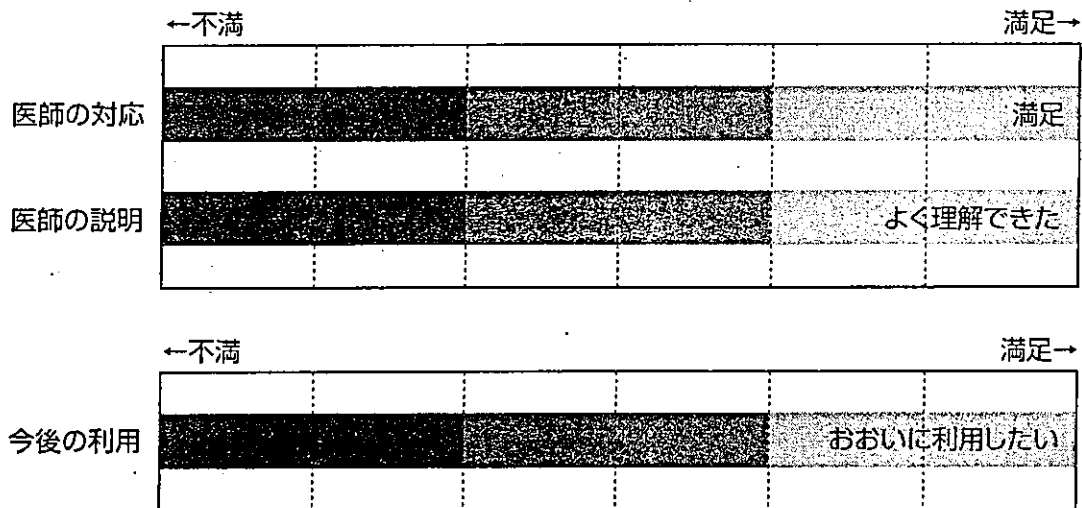
相談小児科医の助言

心配ないので、昼間かかりつけ医に行くように言った。座薬は前回使用より6時間以上あけて使用して下さい。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

解熱剤は一般的に38.5℃以上で、不機嫌時に使用して下さい。

No.8

年齢：1才7ヶ月（女）

症状

土曜日の夜、発熱（38.5℃）、咳、鼻汁あり。

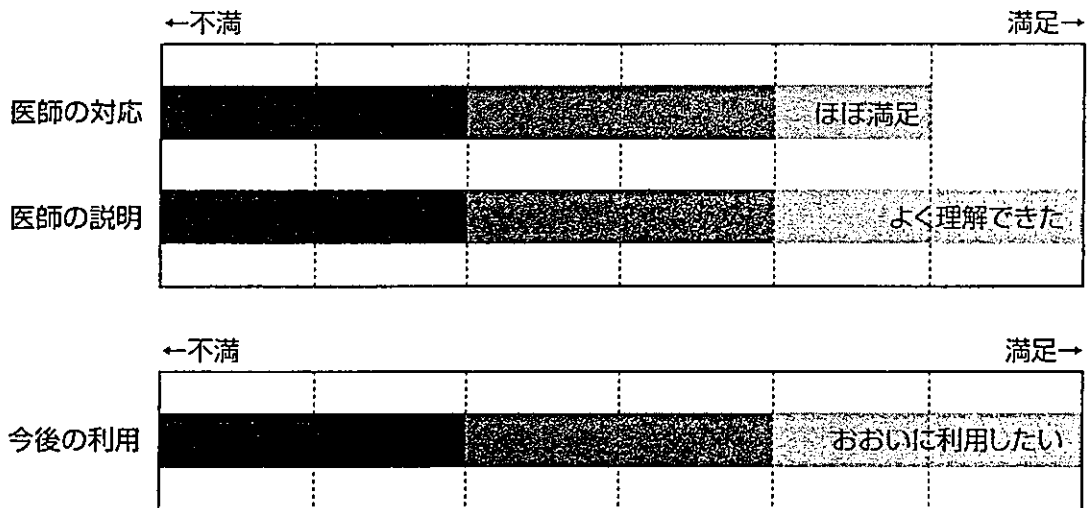
相談小児科医の助言

今晚変化がなければ、昼間かかりつけ医に行くように言った。手持ちの座薬を使用し、頭を冷やして、水分をとりなさい。

相談後の患児の行動

様子をみたが、受診する必要はなかった。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

明日の朝も38℃以上あれば当番医を受診して下さい。変りなければ一晩様子を見て翌日の受診をすすめるようにと助言することも大切です。典型的な風邪症状であり、他に重篤な症状がなければ明朝の受診をすすめるのがよいでしょう。

No.9

年齢：3ヶ月（男）

症状

発熱37.6℃、咳。混合（母乳、ミルク）、飲みは普通。機嫌は良い。かかりつけ医がない。

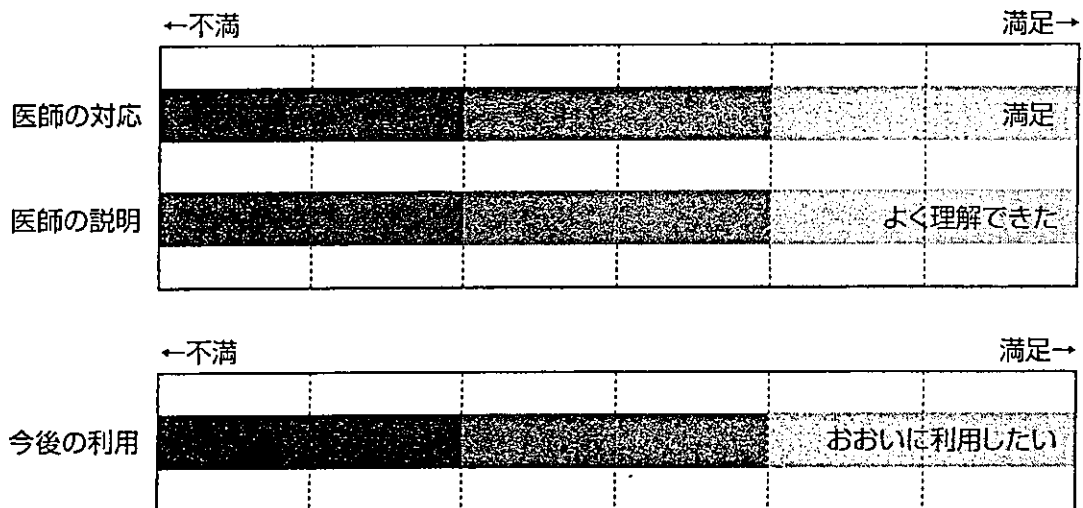
相談小児科医の助言

「熱が上がったら再度電話して下さい」と伝えた。3ヶ月児では37.6℃は発熱とは言えません。機嫌が良ければ明日近医を受診して下さい。夜間救急について話をした。かかりつけ医を持ちましょう。

相談後の患児の行動

様子をみたが、受診する必要はなかった。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

受診のタイミングをきっちり指示しましょう。相談医の丁寧な対応が満足度を高めます。

No.10 年齢：2才4ヶ月（女）

症状

発熱38.9℃、咳が続いている。解熱剤はもっている。

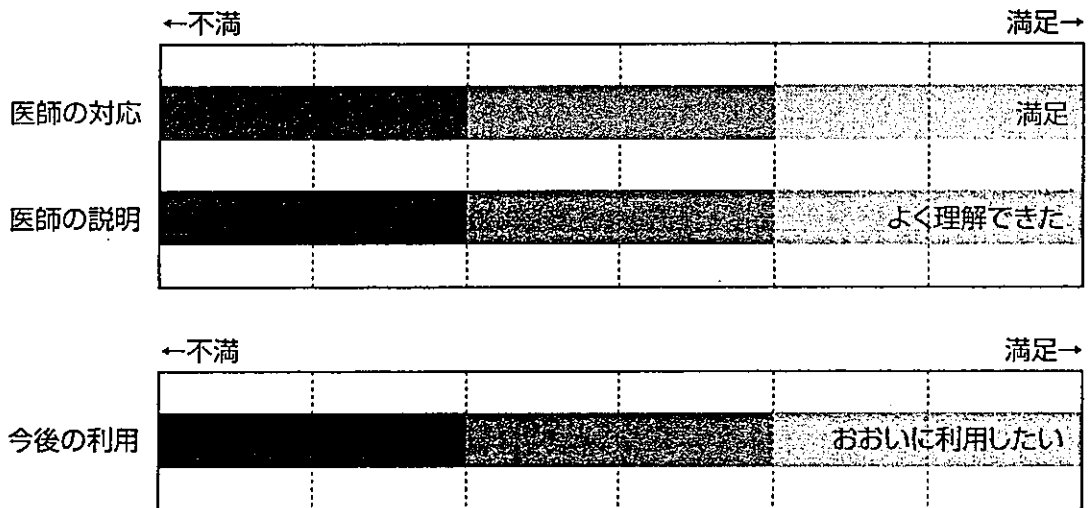
相談小児科医の助言

昼間かかりつけ医に行くように言った。呼吸困難や他の症状がなく、38.5℃以上でしんどそうなら、手持ちの解熱剤を使用してもよいです。

相談後の患児の行動

様子をみたが、受診する必要はなかった。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

咳が止まらない時には、中耳炎などを念頭においた助言もする必要があります。

No.11

年齢：3才（女）

症状

発熱38.5℃、咳。昨日予防接種をした。昼より発熱、少しぐったりしている。

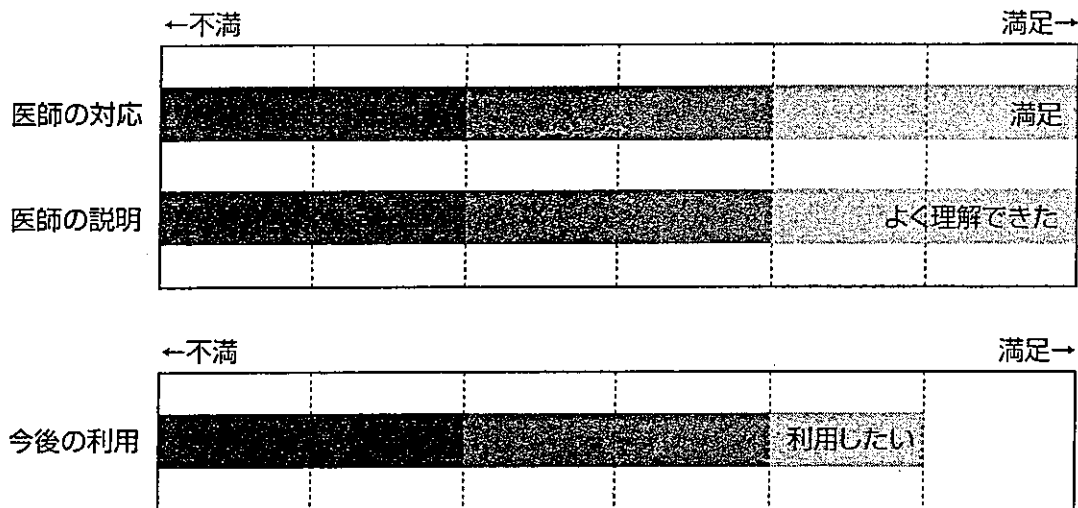
相談小児科医の助言

昼間かかりつけ医に行くように言った。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

「予防接種の発熱ではないでしょう」「心配ないでしょう」とは言わない方がよい。ぐったりしているというのは少し心配です。脱水症状はないか確認して下さい。

No.12 年齢：5才（男）

症状
 発熱37℃、咳。2ヶ月間軽い咳。小児科受診した時には肺はきれい、とのこと。今日は咳がひどい。ややぐったり。食欲がない。

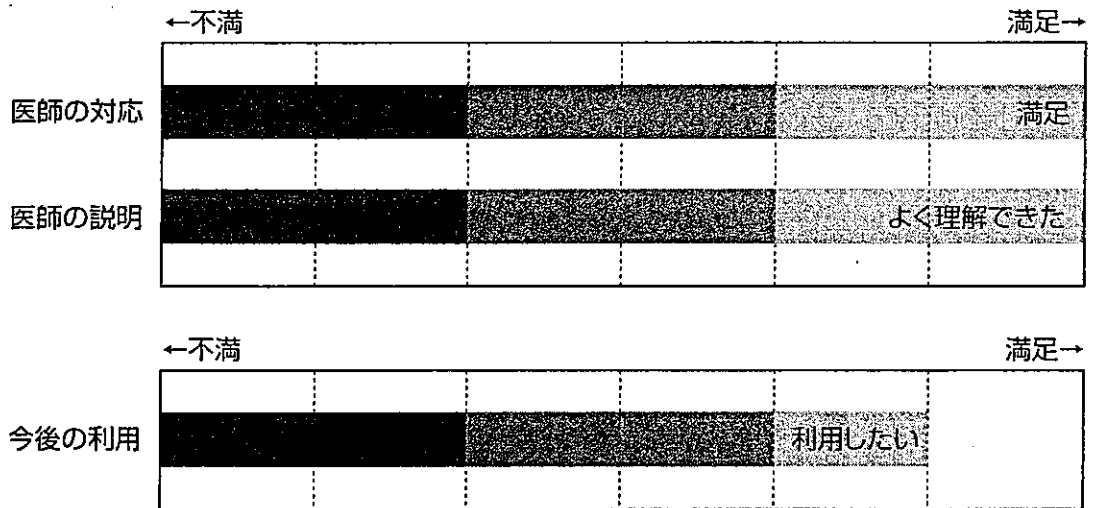
相談小児科医の助言

心配ないが、何かあれば病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

相談しただけで納得した。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

アレルギーや結核のような病気もあります。次回の受診時に小児科の先生とよく相談して下さい。

No.13 年齢：1才3ヶ月（女）

症状

発熱38.5℃、咳。今日は咳込がひどく、もどしそうになる。
呼吸困難あり。兄も風邪をひいている（気管支炎？）。

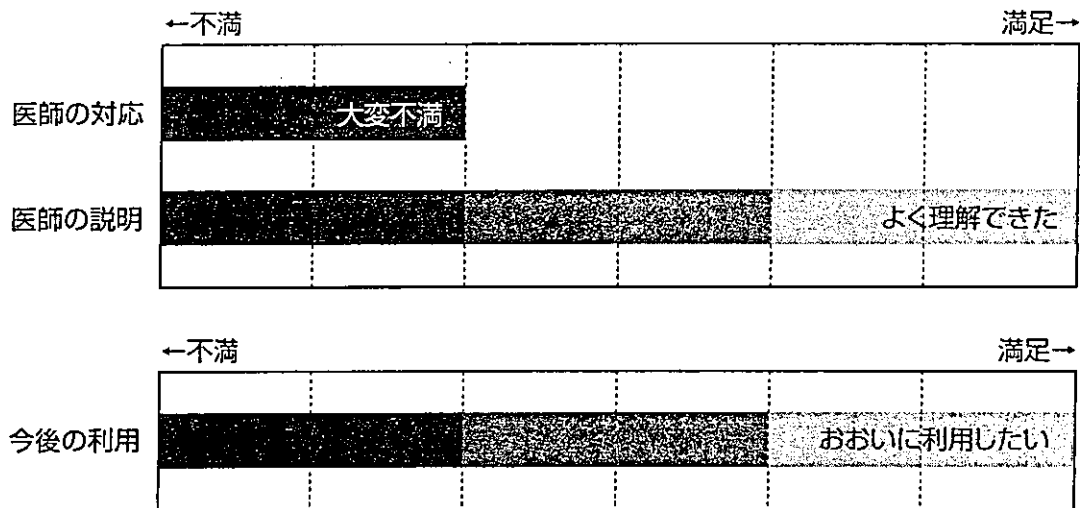
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

電話相談には親身な対応が必要です。なぜ満足度がこんなに低いのか、感情的になったのか不明です。呼吸困難などの症状は一応救急受診をすすめる方がよいでしょう。

No.14

年齢：1才5ヶ月（男）

症状

今夜から発熱（37.5℃）、咳。1810gの未熟児で生まれた。これまで2回救急で受診して、2日後に肺炎を起こしている。

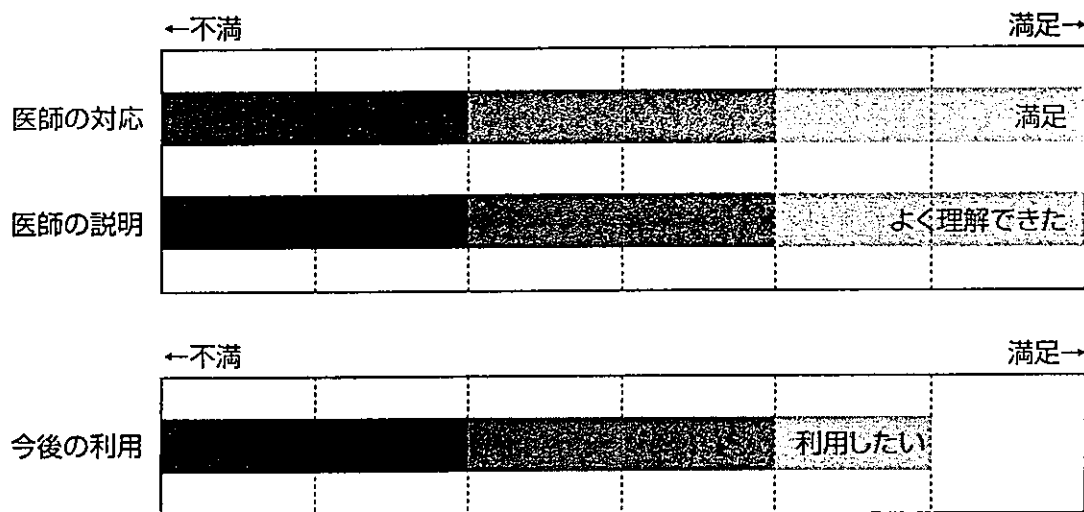
相談小児科医の助言

心配ないが、何かあれば病院に行くようにすすめた。咳がひどくて解熱しなければ受診をして下さい。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

未熟児の感染は早期に対応を必要とします。低出生体重児で何か肺に問題があるのかもしれませんが。救急受診をすすめておく方が安心です。

No.15

年齢：3才（男）

症 状

発熱（39.6℃）、喘鳴あり。

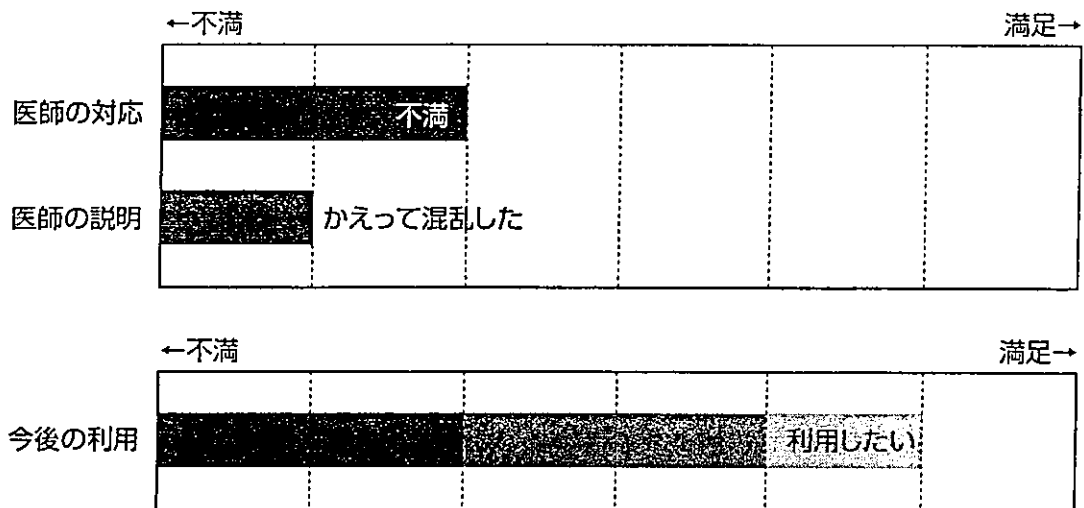
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。近くの夜間休日診療所の電話番号を伝えたが、結局救急病院の受診をすすめた。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

受診に際し、それでなくても相談者側には、混乱と不安があると思われますので、相談対応者は救急病院受診をすすめる場合、予めその日の救急体制を正しく把握して対応して下さい。

喘鳴

No.1 年齢：4ヶ月（女）

症状

発熱37.5℃、咳、母乳を吐く。ゼイゼイと呼吸が苦しそう。

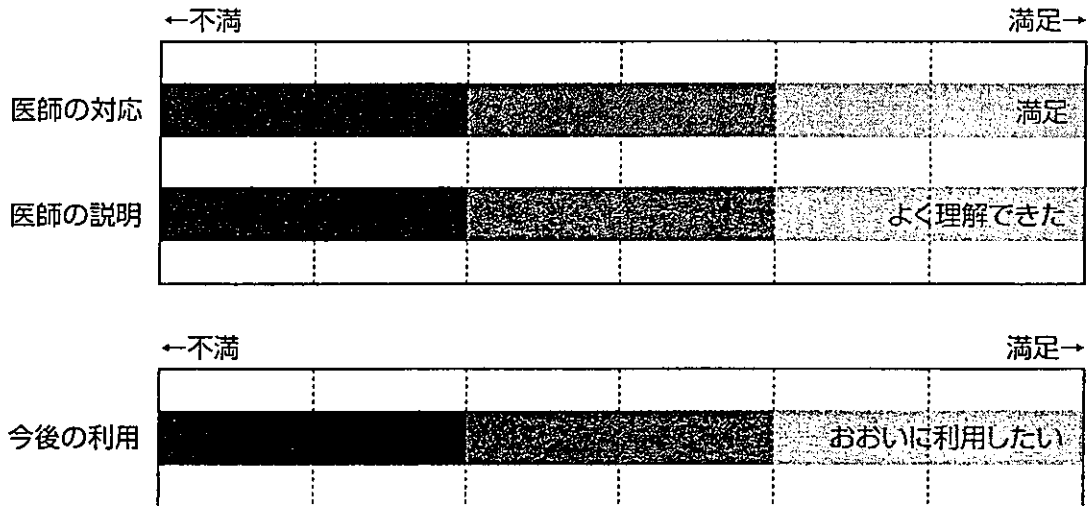
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

乳児の早期の喘鳴は、すぐに症状が変化します。絶えず観察して下さい。細気管支炎の疑い、急性増悪の恐れがあります。救急受診の必要があります。

No.2

年齢：2才（女）

喘鳴

症状

数日前から咳、鼻汁にて加療中。本日よりはじめて喘鳴、咳込みがあり、呼吸がつかう。初めての喘鳴。

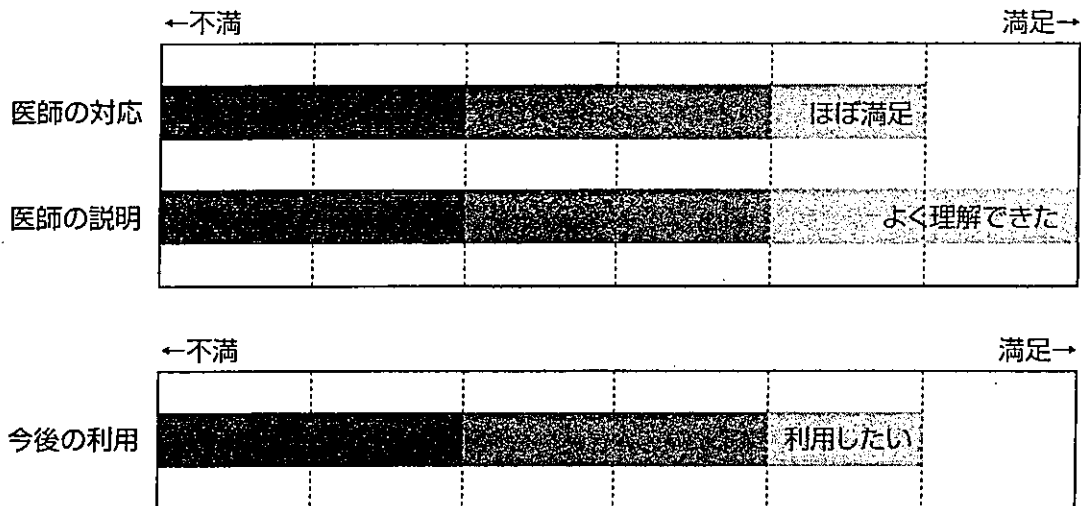
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

まず、水分を十分にあげてください。呼吸困難があるときはすぐに救急受診をすすめてください。

No.3

年齢：5才（男）

症状

咳、喘鳴。今夕より喘息症状。咳がひどく眠れないが、苦しくはない。オノンと気管支拡張剤を服用中。ホクナリンテープも持っている。

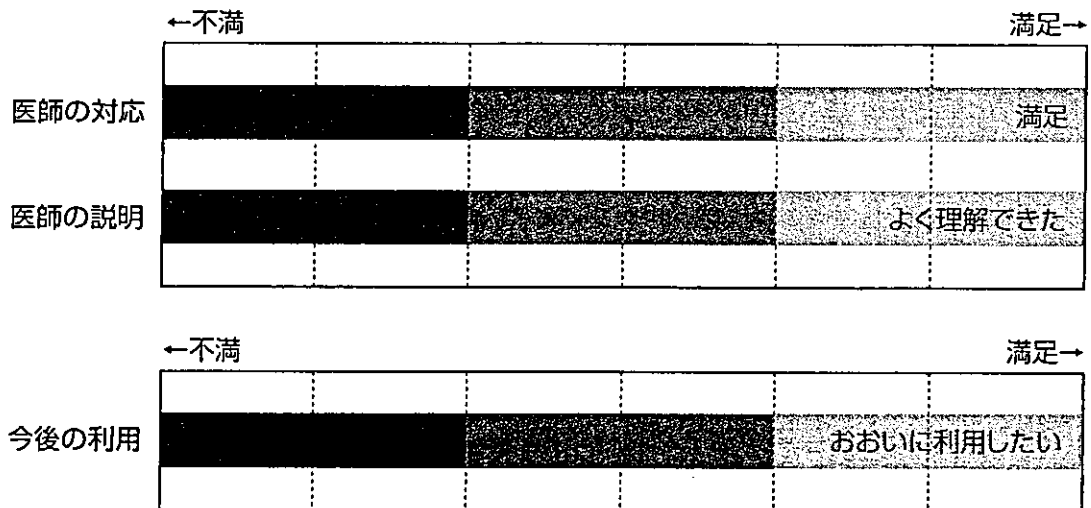
相談小児科医の助言

息苦しそうであれば病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

翌日の昼間にかかりつけ医に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

もう一度薬を飲ませてあげましょう。苦しくないのなら自宅の常備薬で一晩みるのもよいでしょう。かかりつけ医に夜間発作時の処置を聞いておくようにアドバイスをしてください。

No.4

年齢：10ヶ月（女）

症状

咳、喘鳴。本日夕方より高熱発熱39.7℃になる。解熱剤も持っていない。

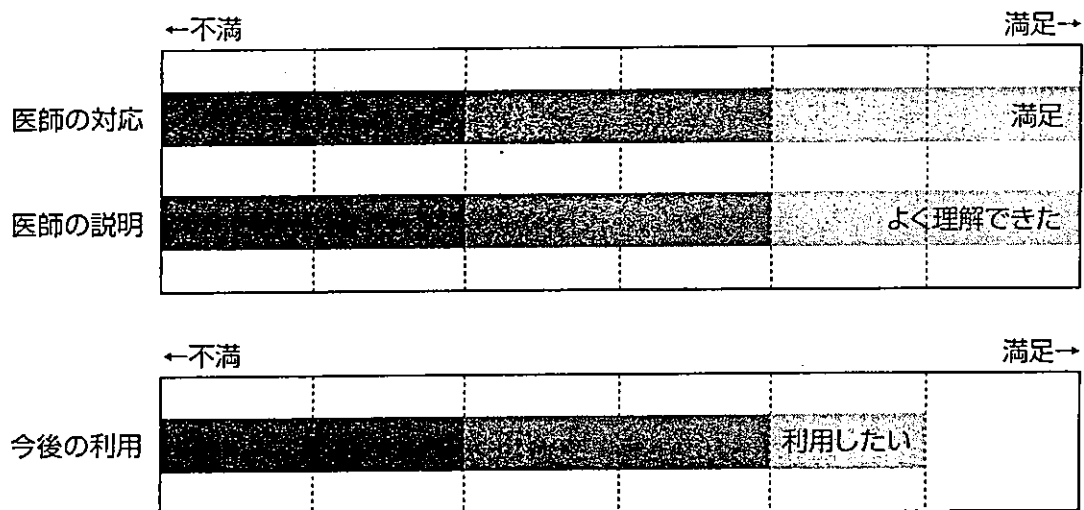
相談小児科医の助言

解熱剤がないので病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

解熱剤（坐剤）を日頃から予備として持っていた方がよいです。

呼吸困難

No.1 年齢：10才（男）

症状

昨日より息が苦しい。喉に膜が張っているようだ。国立A病院に電話して断られ、消防へ電話すると、この電話相談を紹介された。相談の結果によっては搬送すると言われた。

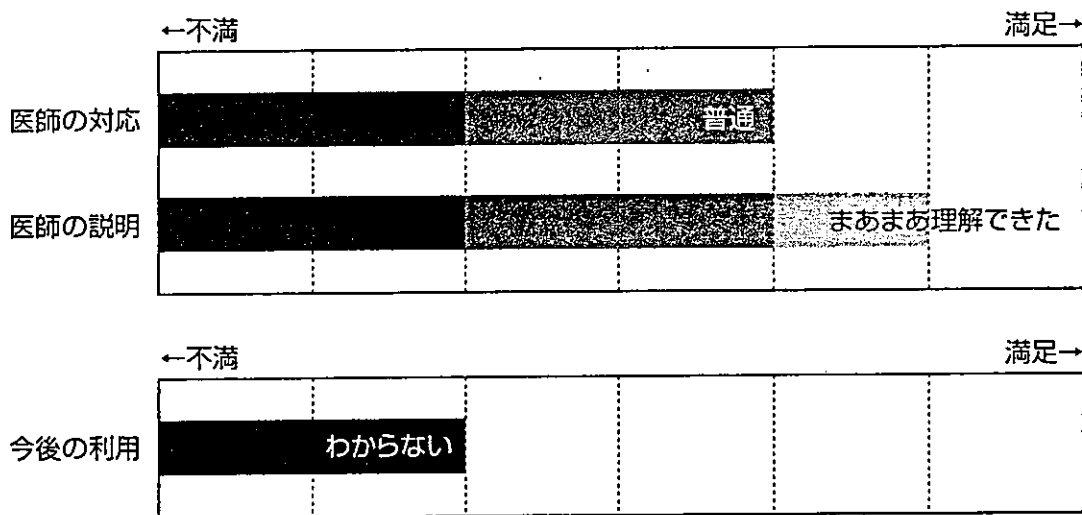
相談小児科医の助言

呼吸困難があるので119番するように言った。

相談後の患児の行動

指示を受け119番し、救急車を呼んで受診した。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

もう少し早い時期に最寄の医療機関を受診した方がよいです。「かかりつけ小児科医」を決めておくと良いと指導して下さい。呼吸困難は救急受診のサインです。

嘔吐・下痢

No.1

年齢：8ヶ月（女）

症状

発熱37℃。嘔吐6～7回。下痢1、2回。

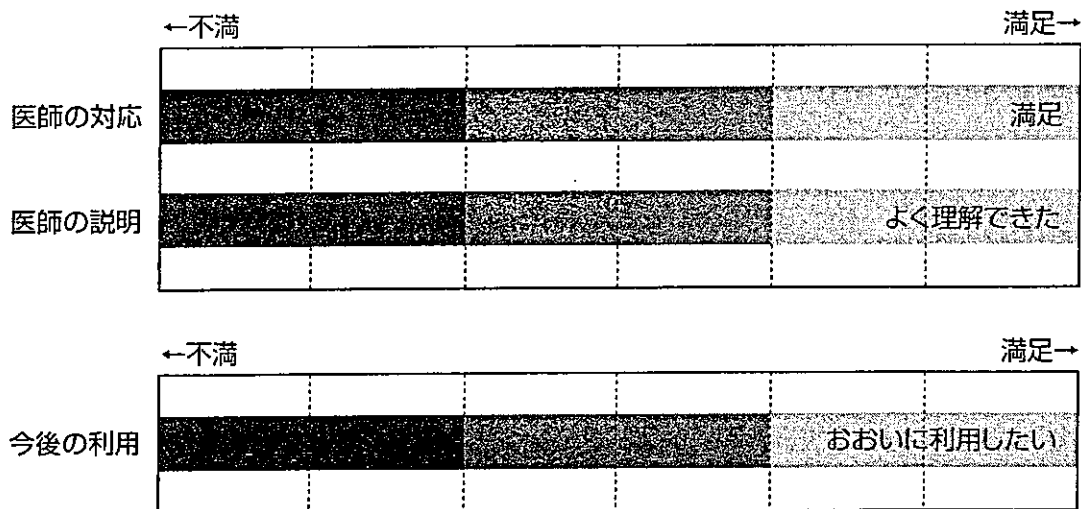
相談小児科医の助言

心配ないが、何かあれば病院に行くようにすすめた。座薬を使用しても嘔吐が続くときは救急病院へ行った方が良いです。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

乳児の脱水は進行が早いので、脱水の程度の見方について注意を
してあげてください。

No.2 年齢：1才（男）

症状

3日前より嘔吐下痢がありロタウィルスが原因と診断された。体温は、37.3℃。

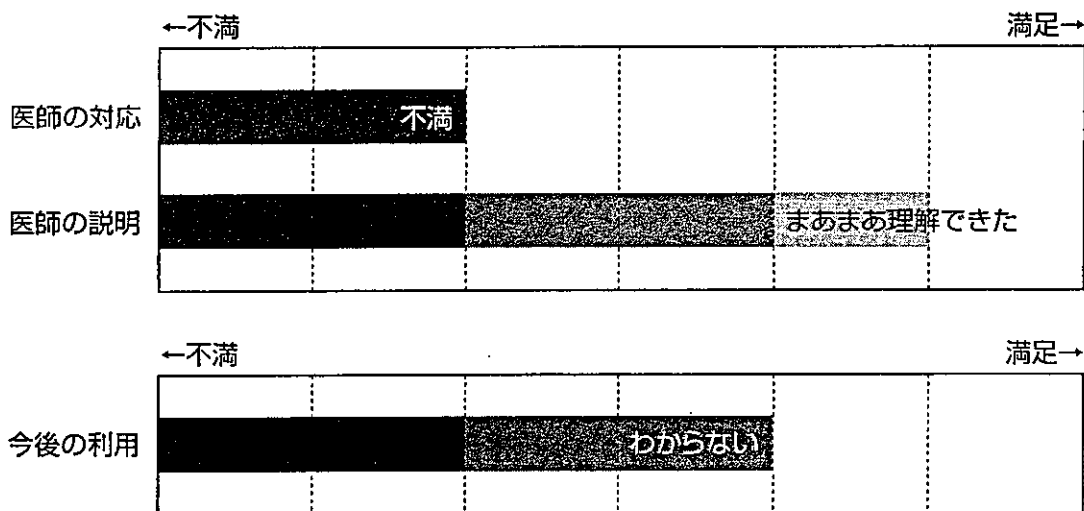
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



④ ワンポイントアドバイス

脱水症を起こさないように、水分の補給をしましょう。脱水などが強くなければ、翌日まで待つように言ってもよいでしょう。ロタウィルスによる嘔吐下痢症は夜間に症状が悪化することがありますので注意するよう指導して下さい。

No.3

年齢：3ヶ月（男）

症状

嘔吐2回、下痢（粘液便）。1時間くらい泣き続けている。熱はない。

嘔吐
下痢

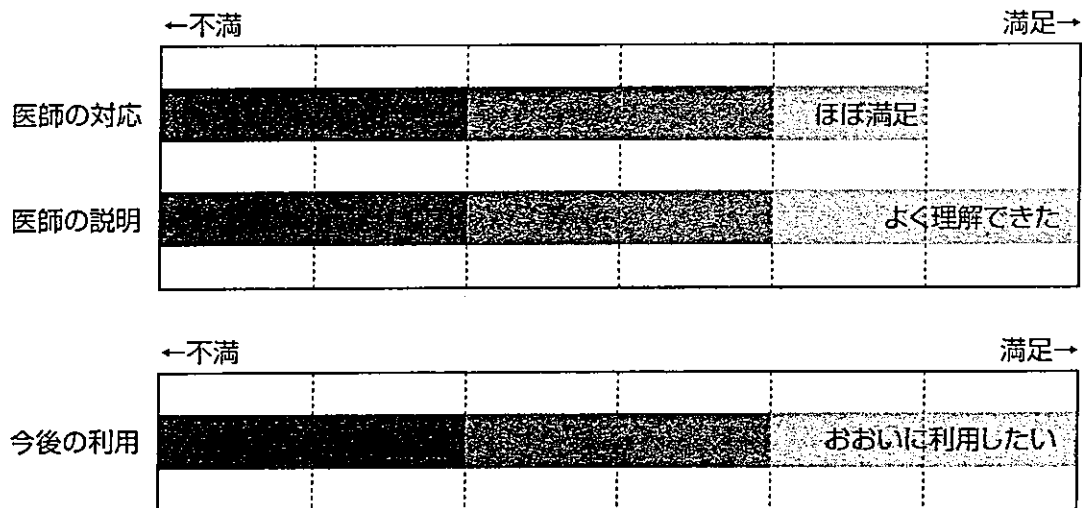
相談小児科医の助言

心配ないが、何かあれば病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

様子を見たが、受診する必要はなかった。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

くちびるや皮膚が乾いていませんか？3ヶ月児ですので心配がないとは言わないで下さい。便の症状、嘔吐物の性状、脱水の有無などを聞いてあげて下さい。

No.4

年齢：1才6ヶ月（女）

症状

発熱38.5℃、下痢10回以上。

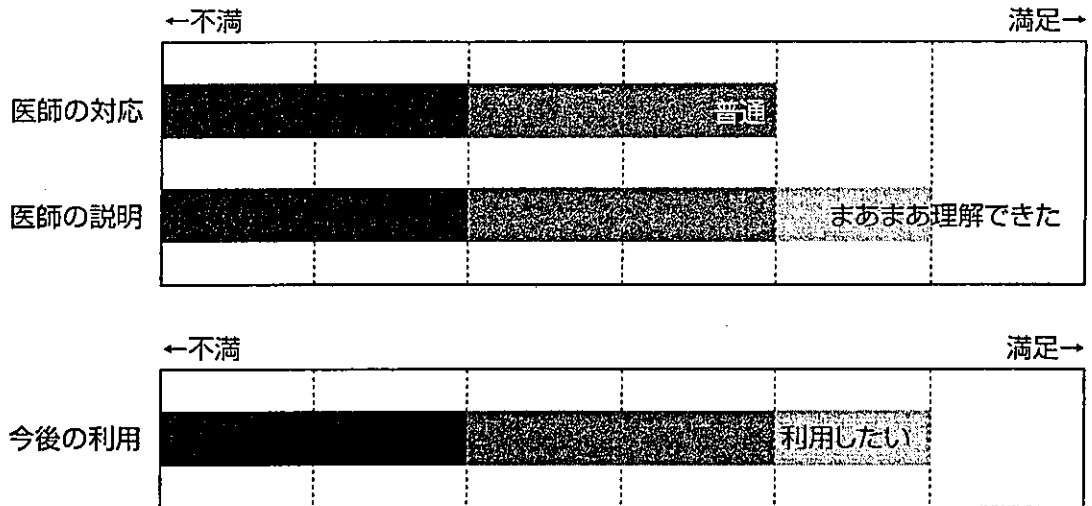
相談小児科医の助言

病院に行くようにすすめた。

相談後の患児の行動

すぐに救急病院に行った。

相談者の満足度



ワンポイントアドバイス

脱水の危険があるので、早目に加療がよいでしょう。脱水症状について聞いて下さい。早目に病院へ行くようにというアドバイスは適切です。